

# 平成19年度決算

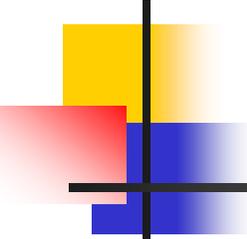
## 健全化判断比率の状況

(単位:%)

地方公共団体 コード	都道府県名	市区町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
262129	京都府	京丹後市	-	-	17.7	179.4

(単位:%)

標準財政規模 (千円)	うち臨時財政対策債 発行可能額	早期健全化基準	12.53	17.53	25.0	350.0
		財政再生基準	20.00	40.00	35.0	
19,321,718	928,512					



# 総 括

---

- 平成 19 年度決算に基づく京丹後市の健全化判断比率は、4 指標とも国の定める適正基準の範囲内となりました。
- 指標の公表は平成 19 年度決算から、財政健全化計画等の策定の義務付け等は平成 20 年度決算から適用されます。

## 第1の指標

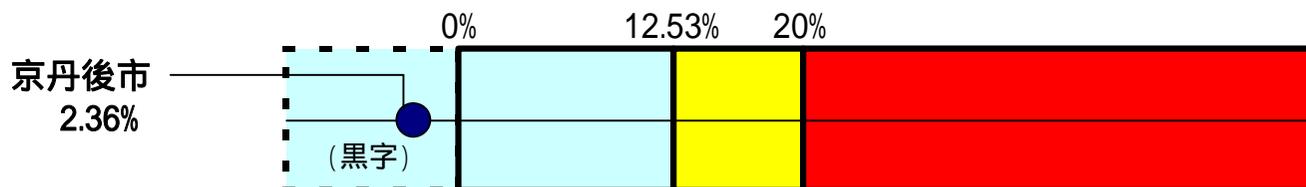
# 実質赤字比率

- 一般会計等の赤字の程度を示します。数値が大きいほど財政運営が深刻化していることを表します。
- 平成19年度の京丹後市における一般会計等は黒字のため、該当しません。数値化すると2.36%となります。

%  
黒字のため該当なし

早期健全化基準 12.53%  
(団体ごと年度ごとに算定)

財政再生基準 20.00%



$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

## 第2の指標

# 連結実質赤字比率

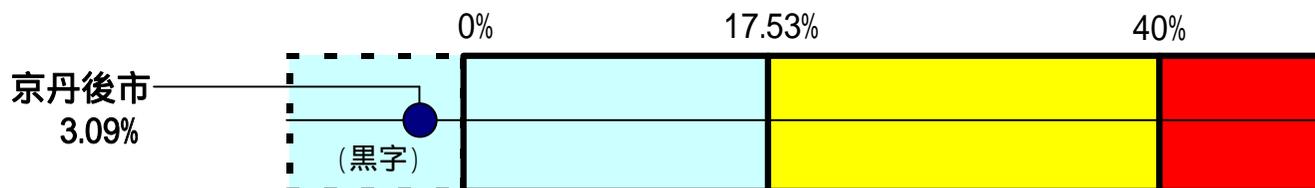
- 特別会計や企業会計などすべての会計を合算して、市全体としての赤字の程度を示します。数値が大きいほど財政運営が深刻化していることを表します。
- 平成19年度の京丹後市は黒字のため、該当しません。数値化すると 3.09%となります。

%

黒字のため該当なし

早期健全化基準 17.53%  
(団体ごと年度ごとに算定)

財政再生基準 40.00%



$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

## 第3の指標

# 実質公債費比率

- 借入金の返済額やこれに準じる額の大きさを示します。数値が大きいかほど資金繰りが悪化していることを表します。
- 平成19年度の京丹後市の3カ年平均は17.7%で、早期健全化基準（黄信号基準）を下回りました。

**17.7%**  
(18年度 17.9%)

早期健全化基準 25.0%  
財政再生基準 35.0%



$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \quad \text{の3カ年平均}$$

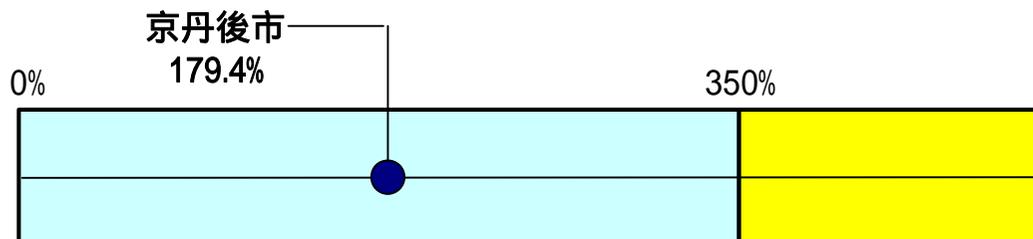
## 第4の指標

# 将来負担比率

- 借入金や将来的に支出することが見込まれる現時点での残高を示します。数値が大きいほど将来、財政を圧迫する可能性が高いことを表します。
- 平成19年度の京丹後市は179.4%で、早期健全化基準（黄信号基準）を下回りました。

**179.4%**

早期健全化基準 350.0%



$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$